ポスター発表

2025年11月1日(土) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-39] JAXA高解像度土地利用土地被覆図による作物統計調査の水稲面積の検証

*米澤 千夏[1]、有年 由貴子[2] (1. 東北大学、2. 日本経済新聞社)

キーワード：衛星画像、土地被覆分類図、水田、農地、区画情報

農林水産省が実施する作物統計調査における水稲の作付面積を、宇宙航空研究開発機構（JAXA）が公開している高解像度土地利用土地被覆図（LULC）をもとにした水田の面積と比較し、検証した。2024年のLULCに農林水産省による農地の区画情報（筆ポリゴン）を重ね合わせ、LULCで水田に相当するポリゴンを抽出し、面積を算出した。都道府県単位での集計結果を2024年の作物統計調査の水稲作付面積と比較したところ、九州・沖縄を中心とした一部の都道府県をのぞいてLULCによる水田面積が統計調査の値を上回る結果となった。作物統計調査のほうが大きな作付面積を示した都道府県は、おもに二毛作や二期作が盛んな地域に相当する。市町村単位での比較をおこなったところ、LULCが統計調査を下回った佐賀県では、佐賀市、小城市など土地利用型農業が盛んな平野部で両者の違いが大きくなった。宮城県では、統計調査のデータがある全ての市町村でLULCが統計調査を上回った。

©一般社団法人地理情報システム学会